

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	村上 鈴木
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3518
事務事業名	10672 道路改良事業（防災・安全）						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	06033300 橋や道路整備の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費					
	事業	010000 道路改良事業（防災・安全）					
事業目的				事業概要・効果			
社会資本整備総合交付金を活用し、幹線道路を重点に整備することにより、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。				幹線道路は国道や県道及び学校、病院、産業団地等の公益施設並びに地域に形成されているコミュニティ相互を連絡し、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
①高梨宮川八重森線L=120m②園芸高校井上線L=500m③常盤町下八町線L=241m④高梨小島線L=291m	①舗装長寿命化修繕計画策定②園芸高校井上線L=500m③常盤町下八町線L=200m用地・補償④高梨小島線L=291m⑤米持東中学校線ほか2路線L=400m測量設計⑥橋梁長寿命化修繕事業⑦橋梁点検⑧坂田原滝ノ入線
平成29年度 実績	平成30年度 実績
①舗装長寿命化修繕計画策定②常盤町下八町線L=210m③押堀橋新田線L=99m④米持東中学校線ほか2路線L=400m用地補償⑤橋梁長寿命化修繕事業⑥橋梁点検⑦トンネル点検⑧坂田原滝ノ入線91m	①米持東中学校線道路改良工事 L=175m ②舗装修繕工事 L=530m ③上鮎川橋修繕工事 L=49.75m ④橋梁長寿命化修繕計画更新業務委託
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
井上跨線橋電鉄沿線ほか2路線測量設計業務委託 米持東中学校線道路改良工事 舗装修繕工事 橋梁長寿命化修繕工事 橋梁点検業務委託	幸高福島線測量設計業務委託 井上跨線橋電鉄沿線ほか2路線道路改良工事 舗装修繕工事 橋梁長寿命化修繕工事 橋梁点検業務委託

指標名						単位	m
算式						単位	m
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		117,199	801,300
特定財源	国庫支出金	62,978	436,605
	都道府県支出金	0	0
	地方債	48,700	328,000
	その他	0	0
一般財源		5,521	36,695
人員数(人)	正規職員	2.4	3.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	17,436.0	27,607.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	17,436.0	27,607.0
市民一人当たりの経費		2.6	15.8
総額		134,635.0	828,907.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	56,453	測量・設計委託56,453
15節 工事請負費	60,746	改良・修繕工事費60,746
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	10,010	測量・設計委託10,010
14節 工事請負費	436,490	改良・修繕工事費436,490
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	354,800	用地購入費271,600 立木等補償料83,140

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	安心・安全で快適な道路・交通環境の改善を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	変則交差点の整備による交通事故防止などの道路環境の改善や通学路等の歩道整備・改良により歩行者の安全対策が図られる	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	国の交付金を活用し事業を推進している	

振り返り（決算年度の取組み課題）
交付金の確保ができ、事業の進捗が図れた

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
工事を実施し、安全・安心で快適な道路整備の推進を図る。		交付金の確保を図り、計画的に整備を進める必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	